

令和6年度第1回豊能町立図書館協議会 会議報告

1	会 議 の 名 称		令和6年度第1回豊能町立図書館協議会
2	開 催 日 時		令和6年9月20日(金) 15時30分～17時00分
3	開 催 場 所		豊能町立図書館 集会室
4	事 務 局		生涯学習課図書館
5	出 席 者	委 員	金井 理枝子委員 田中 未知委員 西村 はるみ委員 松島 康郎委員 宗像 亮委員 薮田 昇太郎委員
		事 務 局	生涯学習課長 中谷 匠 図書館長 藤木 裕美 図書館主事 梅田 建都
6	会 議 の 次 第		1. 生涯学習課長挨拶 2. 議題 1) 会長・副会長の選任 2) 令和5年度図書館活動の点検及び評価について 3) 令和6年度の事業について 3. 報告事項 1) 「みんなの森 ぎふメディアコスモス」視察報告
7	審議等の要点		別紙のとおり
8	報 告 者		豊能町教育委員会 こども未来部 生涯学習課 図書館 南 正好

令和6年度第1回豊能町立図書館協議会 要点
(令和6年9月20日(金)開催)

開 会 開会の宣言、石塚委員が辞任をし、補充しない旨報告をした後生涯学習課長が挨拶をした。挨拶の中で、町公共施設の現状について及び公共施設再編にかかる基本方針を説明するとともに、環境施設組合のダイオキシン類が含まれる廃棄物管理施設の整備に伴う中央公民館への進入路変更について説明した。

議 事

① 議題

1) 会長・副会長の選任

委員の互選により、会長に田中委員、副会長に松島委員が選任された。

2) 令和5年度図書館活動の点検及び評価について

事務局 (事務局より説明)

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書により、図書館に関する評価について以下のように説明した。

「図書館運営事業については、図書館資料が困難な子育て世代への出前的な活動として、子育て支援センターを拠点にお話し会や絵本の長期貸し出し事業を実施することで、子どもの読書環境の充実が図られている。こども食堂ゆるりんでの読み聞かせも開始しており、積極的に地域に出かけて活動が行われている。主催事業も4年度に比べて倍増しており、活発に活動が行われていることが見て取れる。他にバリアフリーに対する対応や、多文化対応、デジタルアーカイブ化など、多彩な事業が積極的に行われており、高く評価できる。」

委 員

豊能町の利用者が減ってきているようだが、コロナ禍以前に戻っていない理由は何か。
本離れが進んでいるがお茶を飲めるなど人が集まる空間づくりが必要となっているのではないか。

公共施設の再編はいつごろになるのか。

ギャラリーやガラスの大箱の募集をしているが状況はどうか、抽選しているのか。

SNS等を活用した発信が大切と思う、それにより多くの人が来館してくれるのではないか、それによりあまり図書館が騒がしくなっても困るが。

オーディブルなんかが出てきて読まないで聞くようになってきているのではないか。

事務局

高齢化とコロナ禍の間にここへ来る気力がなくなってしまったのかと考えている。空間づくりに関しては、今の施設ではなかなかゆっくりとしてもらえる空間を作れない現状であるので、公共施設の再編によりできればと思う。公共施設の再編には、過疎債の活用を考えているので、令和12年がリミットとして計画している。ギャラリーは何とか

1 年分埋まる状況だが、ガラスの大箱は応募が少なくこちらからアクションをかけている状況である。広報の仕方は図書館の最も苦手とするところ、大変で困っているが、効果のある発信方法について今後も考える。
箕面市にはオーディブルもあるが町は利用できない。

3) 令和 6 年度の事業について

事務局

(事務局より説明)

令和 6 年度予算、26 万円少ないが資料費が増額、図書館システム機器更新を行いました。システム及び PC とプリンターの更新である。それにより、スマートフォンによる WEB 利用者カードが利用できるようになった。令和 6 年度の図書館運営の目標は、教育基本指針では 5 項目を定めている、具体的には図書館活動として 8 項目を定めている、その中で特に今年度はマナーアップを目的とする啓発活動と館内環境の向上を掲げている。ここ 1, 2 年心ない図書館利用者が増えていると考えているので図書館利用マナーの啓発を行う必要があると考えている。図書館が場としても機能を発揮するために環境の向上を図りたい。

今年度これまでは、バリアフリーサービスの対象者の範囲を拡大した。おもいでアーカイブについては、古地図とまちなみを新たに公開している。予約リクエストの受け付け方法はコロナ禍以前に戻し、ダイレクトリクエストについても特定の人のみの利用であったため中止した。

委員

利用券なしで、スマホでできるようになったのか。

館内環境の向上とは具体的にどのようなものと考えているのか。

館内環境の再整備とは具体的に何か考えていますか。

お話し会の見直しとは何をされる予定ですか。

おすすめ本の紹介とかしておられますか。

事務局

スマホ利用券の利用には、ログインが必要であるができるようになった。

町民の方というより広域の方が自由にご利用いただいております、破いたり、汚したりが多く発生しており、豊能の資料を豊能の方々と同様に大切にご利用いただきたいと考えている。再整備はギャラリーのところや児童コーナーなど何か少し長く楽しんでいただけるような工夫がしたいと考えている。お話し会は、幼児のお話し会に参加者が少ないので、見直しをしたい、年齢を変更した入り曜日時間の変更やこちらから出かけてすきっぷやいちごルームに行き、図書館を再認知していただきたい。ご利用者のおすすめやスタッフのおすすめを今後展示する予定です。

② 報告事項

1) 「みんなの森 ぎふメディアコスモス」視察報告

事務局

（事務局より説明）

松島副会長、報告宜しくお願いします。

委員

みんなの森 ゑふメディアコスモスという複合施設に見学に行ってきた。

すごい施設で、図書館の他に市民の活動ができる場所、多目的ホールなど大きな施設であった。滞在型施設で、座席が多い、色んな居場所がある、実に 900 席ある。

傘のモニュメントが有名でこれを見に来られる方も多い、これは地元の学生が考えたのもで、夜 9 時まで空いている。

遊び心があり、川船型読書スペースや、子どものための仕掛けもいろいろとある。

本棚は低く見渡せる高さで統一されており、開放感がある。

最初は施設があつて後から中身ができた施設で、総合プロデューサーの方がいて、市民や職員の意見が大いに反映された施設となっている。施設の大きさはナゴヤドームのグラウンドの半分らしいが、とても大きく感じた、豊能町の再編の区域の面積と変わらない大きさであったので、豊能町でも夢ものがたりではない良いものができると思う。

以上